



2023年5月1日
第94回広島県中央メーデー



安心して暮らせる生活と平和を求めて…労働者団結!



人間らしく、幸せな生活を
守るためにつなごう!

今年初めての取り組み「ジェンダー平等川柳」の上位発表も行われました。

新たな取り組み! ジェンダー平等川柳

活動報告では医療、ジェンダー平等、ケア労働者、平和、非正規、憲法について発言があり、今年初めての取り組み「ジェンダー平等川柳」の上位発表も行われました。

G7開催目前、平和を求め訴えるべき

集会では、神部泰実行委員長(県労連議長)が、メーデーの歴史を紹介した上で、岸田政権による大軍拡・大増税を厳しく批判し、「平和こそ労働組合の原点」「G7開催に向けて、唯一の戦争被爆国の労働者、国民として、核兵器禁止条約の早期批准を求めよう」とあいさつしました。

5月1日(月)初夏を感じる好天のもと、広島県第94回中央メーデーが「働くものの団結で生活と平和を守り、平和と民主主義、中立の日本をめざそう」のスローガンを掲げて開催され、全体で400人うち広島自治労連から70人が参加しました。

写真右・ジェンダー平等川柳
写真中・広島市職労退職者会
写真左・広島介護労



午後からは、県北、尾三、呉地区でも開催され、人間らしいまともな生活のできる職場と地域実現を求め行動することを決意しました。

広島自治労連の浅海美咲子執行委員がメーデー宣言を読み上げ、大きな拍手で採択されました。恒例のプラカードコンクールには広島自治労連から介護労、広島市職労、女性部も加盟するはたらく女性実行委員会等が応募し、「幸せに生きたい 働きたい」をテーマにしたはたらく女性は2位を獲得しました。



浅海美咲子執行委員



新鮮力① 今年のNEW FACEを紹介

仕事と家庭の両立を頑張りたい

広島市留守家庭子ども会労組/
放課後児童クラブ指導員

資格を活かし、仕事と家庭の両立を自分なりにがんばって働きたいと思い、この仕事を選びました。

組合では仕事等を詳しく知りたいです。

自分ではわかりませんが、周りから「天然だね」と言われます。趣味はショッピングと料理です。

広島自治労連は、4月以降組合加入が続いています。新しい仲間がどんなひとたちなのか、少しだけ紹介します。

子どもの思いを大切にしたい

広島市職労/保育士

地元の剣道の道場で子どもたちに教えていくうちに、子どもと関わる仕事に興味を持ち、この仕事を選びました。

子どもたちの「やってみよう」の思いを大切に、主体的に過ごせるよう関わっていききたい。

最近ディキャンプデビューしたので、今後は泊りがけで行ってみたいです。

職場をこえた同期の輪!

先輩とのつながりも



企画しました。昨年度はリモート会食でしたが、今年は趣向を変えてボウリング大会を4月21日に行いました。

先輩組合員を含め28人が集まり、新規採用者を歓迎しました。

広島市職労は広島市役所の新規採用職員のみなさんに、同期のつながりをつくらせてもらおうと、歓迎会を企画しました。昨年度はリモート会食でしたが、今年は趣向を変えてボウリング大会を4月21日に行いました。最後にクオカードや高級カップ麺等、チームごとの順位に応じた景品が配られ、「やったあ!」「嬉しい!」と笑顔があふれました。

風通しのよい職場にしたい

～困りごと、悩みごとは労働組合に相談しよう～

定員削減や多様化する賃金・労働条件等を背景に、職場にはハラスメント（いやがらせ）で苦しむ仲間が増え続けています。

国も2020年6月1日施行「職場におけるハラスメント防止対策」を策定し、対応強化、その中には「パワーハラスメント防止のための措置」が義務化され、**◆相談窓口をあらかじめ定め、労働者に周知すること◆相談窓口担当者**が、相談内容や状況に応じ、適切に対応できるようにすること、と定められました。

しかし、2022年12月に「はたらく女性の実行委員会」が行ったアンケート（回答者3251人）では「相談窓口がない、わからない」の回答は約36%。ハラスメントに対する対処方法では「労組に相談、職場の相談窓口に訴えた、公的機関に訴えた」という低い結果でした。

●職場のハラスメント相談窓口をご存知ですか

みなさん、職場の相談窓口をご存知ですか？わからない場合は必ず総務課に聞いてみましょう。

職場の人間関係等もあり、相談を諦めたり、黙ったまま退職を選んだ仲間もいます

- ①男性職員が育児休暇を取得するのは好ましくない。
- ②同僚が「妊娠するなら、忙しい時期を避けるべき」と繰り返し言っている。
- ③部下に対する好き嫌いが激しく、嫌いな部下には業務の説明をせず、無視している。
- ④厳しく叱ることは、いわゆる親心である。（人事院作成パンフより抜粋）



5月10日（水）午前9時30分から広島市議会棟前で、「国際平和文化都市にふさわしい！ヒロシマの図書館を」中央図書館は中央公園内にて建て替えを、「中央公園の再整備計画の再検討を」と宣伝行動と署名活動を行いました。

主催は、「緑ゆたかな静寂の地で広島文化を創造・継承したい市民の会」（広島自治労連加盟）。当日は広島市議会臨時会初日であり、新たに選出された市会議員へのアピールを込めて24名が参加しました。

リレートークでは、「移転根拠の不明確さや、市長・担当課による議会説明の内容と



署名のご協力をお願いいたします



写真上・憲法集会
満杯200名+オンライン6
会場
写真右・マイライフマイ憲法



憲法を順守する人権保障こそ最強の安全保障

5月3日（水）は憲法記念日ということで、県内各地で憲法を考える催しが行われました。

広島市では、まず午前10時より、広島弁護士会館で憲法集会が開催され、ICAN国際運営委員兼会長・ピースボート共同代表の川崎哲（かわさき あきら）さんを講師に迎え、「戦争の準備ではなく、平和の準備を」と題して講演が開催されました。

■安保3文書が何をもたらすか

川崎さんは、安保3文書の改訂により東アジアでの軍事的緊張が高まり、米国の中国による戦争が現実と

なる可能性を指摘し、その上で「国家安全保障戦略」改定の問題点を説明しました。

「反撃能力」という名の敵基地攻撃能力については、相手国の攻撃着手の定義が曖昧であり、防衛費の倍増に関しては、膨大な借金を抱えている日本では、国民の生活が犠牲になる怖れがあること、社会・学術の分野が軍事に支配されつつある中、これを打破するためには、今一度日本国憲法の基本原則に立ち返る必要性があると強調されました。

■言論を大事にしたい

午後には広島県民文化センターで、同会場4年ぶりとなる「マイライフマイ憲法」が開催され、講演では「人々が希求を込めた平和のルール」「転換」の時代にこそ向き合う「高次の法」と題して武蔵野美術大

■国家安全保障を人権保障とどう考える

最後に、国家安全保障とは軍事的な意味ではなく、人権保障・国民の命、暮らしを守ることでありと強調。憲法を順守した防衛・外交政策の大切さを改めて学ぶ集会となりました。

学造形学部教授の志田陽子さんがお話しされました。志田さんは、安保3文書を「安全保障そのもの」「法の順守」「決定の在り方」「財政の問題」の4点で解説し、今一度言論を大事とし、憲法を順守した人権保障こそ安全保障であると訴えられました。

広島県母親大会全体会 *6月11日（日） 12:30~15:00 *広島市南区民文化センターオンライン併用 *記念講演「共に生きるとは何か」 *講師 安田菜津紀さん *参加費 700円 （組合員は組合が負担します） *お問い合わせは広島自治労連まで	広島自治労連第67回中央委員会 *6月22日（木） 18:45~21:00 *ロードビルオンライン併用 *内容 2023春闘総括 当面の運動方針 各職場、補助組織から積極的に発言をお願いいたします。 *お問い合わせは広島自治労連まで	第38回網の目平和行進 *6月23日（金） 17時50分に各コース集合～18時に出発～18時50分、平和公園噴水前到着予定 *集合場所 ・東コース：稲荷橋西詰め ・中コース：池田銅像前 ・南コース：千田スポーツ会館 ・西コース：旧福島生協病院前
---	---	--